

景観推進地区(みなとみらい21新港地区:中区新港1丁目)における景観形成について

審議事項

みなとみらい21新港地区の景観計画における屋外広告物の設置等に関する行為の制限のただし書き適用について

当該地区では、赤レンガ倉庫をはじめとする歴史的資源を保全活用したまちづくりを進めてきました。みなとみらい21新港地区の特徴を生かした景観形成を図るために、赤レンガ倉庫への見通し景観への確保や、対岸や海上から見た景観の演出、周辺の超高層ビル群からの見下ろし景観への配慮などが必要となっています。みなとみらい21新港地区の街並みを更に魅力的なものとするため、横浜市景観計画において自己用以外の屋外広告物の設置について制限をしておりますが、「市長が横浜市都市美対策審議会に意見を聴いた上で、みなとみらい21新港地区の魅力的な景観形成に支障がないと認めた場合」はこの限りではないとしています。

本件は、「ポケットモンスター」と連携した大規模集客イベントの一環として、赤レンガ倉庫敷地内に自己用以外の屋外広告物となるデザインマンホールを1か所常設するにあたり、当該地区の魅力的な景観形成に支障がないかご意見をお聴きするものです。

横浜市景観計画（抜粋）

第3編 景観推進地区ごとの景観計画

第5 屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限に関する事項

みなとみらい21新港地区にふさわしい秩序ある広告景観を形成するため、特に定める屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置（以下「設置等」という。）に関する行為の制限は、次のとおりとする。ただし、市長が横浜市都市美対策審議会に意見を聴いた上で、みなとみらい21新港地区の魅力的な景観形成に支障がないと認めた場合は、この限りでない。

1 屋外広告物共通

屋外広告物の共通の制限は、次のとおりとする。

- (1) 屋外広告物（設置期間が90日以下の催事等のために一時的に設置等するもの又は原則として1日あたり10分以内に限り設置等するものを除く。）は、自己の店舗、営業所、事業所等又はこれらの敷地に、自己又は自己の営業若しくは事業及び自己の所在、名称、屋号、営業内容等（以下「自己用広告物」という。）を設置等するものとする。

【ポケふた（デザインマンホール）の設置概要】

- (1) 設置時期：令和5年8月上旬
- (2) 設置枚数：4枚 **審議対象**
- (3) 設置場所：A：臨港パーク **B：赤レンガ倉庫** C：日本丸メモリアルパーク
D：横浜マリントワー
- (4) 設置期間：3年程度を目安に設置延長に関する検討を実施

事業の全体概要

1 イベントの開催趣旨

ポケットモンスターのゲーム及びカードゲームの世界大会「ポケモンワールドチャンピオンシップス 2023」（以下「WCS2023」とする）がパシフィコ横浜を会場に開催されます。

横浜市と株式会社ポケモン（以下「(株)ポケモン」とする）は、WCS2023の開催を契機とした、ブランド力の向上及び横浜の観光MICEの促進について協定を締結しました。市と(株)ポケモンは相互に連携を図り、WCS2023の開催に合わせて、世界的な知名度を誇る「ポケットモンスター」のコンテンツ力を活用したポケモン夏期イベントを開催し、新規性・独自性・話題性が高い催事やサービス等の事業を展開することで、観光MICEの推進及び市民生活の充実を通じた地域の活性化を行います。

2 ポケモンブランドと横浜市の連携状況

横浜市では(株)ポケモンと連携協定を締結し、2014年から2019年にかけて、ポケモンのキャラクターが登場する大規模集客イベント「ピカチュウ大量発生チュウ」を開催しました。当該イベントでは、6年間で延べ1,200万人を超える集客と75億円を超えるメディア露出効果を生み出すなど、本市の観光政策に大きく寄与してきた実績があります。

また、令和4年度には(株)ポケモンが設立した「一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユーズ財団」と自治体としては初めて協定を締結し、こどもたちの健全な育成や障壁となる課題の解決に向けた次世代育成について連携を図るなど、観光・MICE施策以外でも幅広い分野で協力関係を構築してきました。



ピカチュウ大量発生チュウ
(平成28年)



ポケモンこども食堂応援隊
(港北区下田地域ケアプラザ)

3 全体実施概要

(1) WCS2023

ア 日程：令和5年8月11日（金）～8月13日（日）の3日間

イ 会場：パシフィコ横浜

ウ 概要

ポケモンゲーム（『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』・『ポケモンカードゲーム』『ポケモン GO』・『ポケモンユナイト』）の世界チャンピオンを決める競技会の開催



(2) ポケモン夏期イベント

ア 日程：令和5年8月8日（火）～8月14日（月）の7日間

イ 会場：横浜みなとみらい21地区周辺

ウ 概要 WCS2022 ロンドン大会の様子

ポケモンパレード、ポケモンショー、ポケジェニック（ポケモンのイラストを利用した写真撮影スポットの設置）、ポケモンの世界観に合わせた商業施設の装飾 等

(3) ポケふた（デザインマンホール）

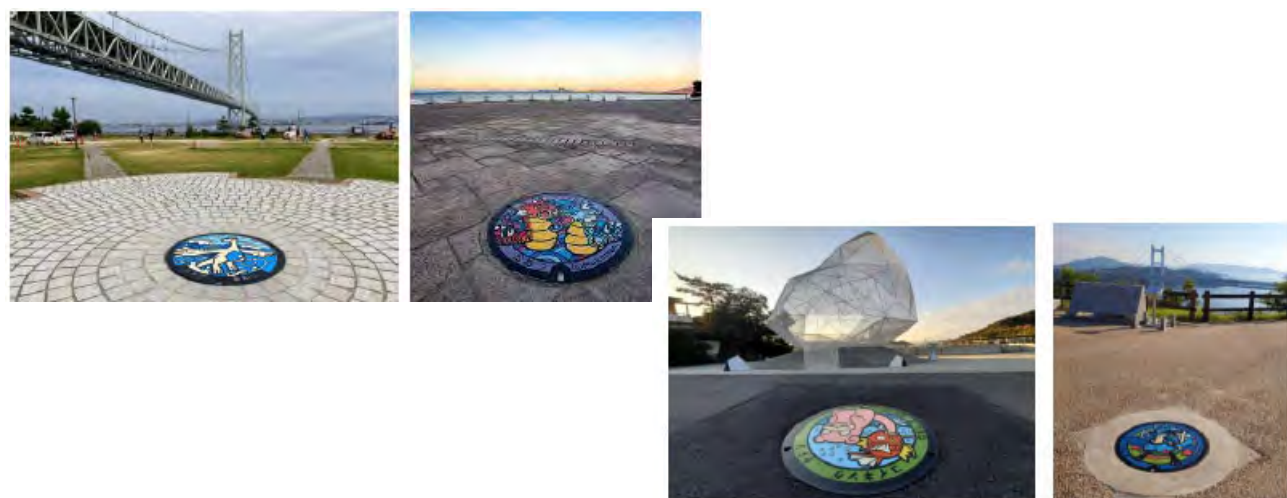
※前述のとおり

ポケふたの設置

1 ポケモンローカル Acts

全国の地方自治体と株式会社ポケモンが連携し、各地の魅力を国内外に発信する「ポケモンローカル Acts」という活動の一環として、ポケモンがデザインされたマンホールを各地の観光施設等に設置しています。※全国28都道府県で288枚設置（2023年3月20日時点）

ポケふたはそれぞれ世界に1枚しかないオリジナルデザインであり、「そこに行かないと出会えない」という価値を創出し、地域の観光振興に寄与するものです。



他都市の設置事例

2 ポケふたの維持・管理

(1) 所有

株式会社ポケモンから文化観光局が寄付として受納し、市の所有物として継続的な管理を実施

(2) 日常管理

文化観光局及び設置場所の指定管理者

(3) 管理方法

文化観光局・・・定期的な現状確認、破損・汚損等があった場合は（株）ポケモンと協議し修繕
施設管理者・・・日常的な清掃作業、点検

※参考：今回新設するポケふたは、下水道管に接続せず地面に受枠と蓋のみを施工し設置します。

3 設置予定場所及び観光資源としての活用

(1) ポケふた設置場所の選定理由

WCS2023のメイン会場となるパシフィコ横浜周辺に集まった国内外からの来場者に対し、都心臨海部の周遊を促すために、新設するポケふたの設置場所は、本市の代表的な観光施設を中心に選定しています。また、市内の景観を楽しみながら徒歩で周遊してもらうきっかけづくりとなることも想定しています。

臨港パークや日本丸メモリアルパークなどの中央地区及びマリントワーを有する関内地区など複数の地区をまたいで設置することから、両者をつなぐ新港地区の赤レンガ倉庫に設置されるポケふたは、周遊を促すための中継点として重要なポジションとなります。

(2) 設置場所における調整

設置場所については多くの観光客が集まることを考慮し、道路に隣接していない広いスペースに設置するなど、来場者が安全に楽しめるよう配慮します。

また、消防署、警察署、病院等の付近を避け、公共機関の業務に支障をきたさない場所を選定しています。

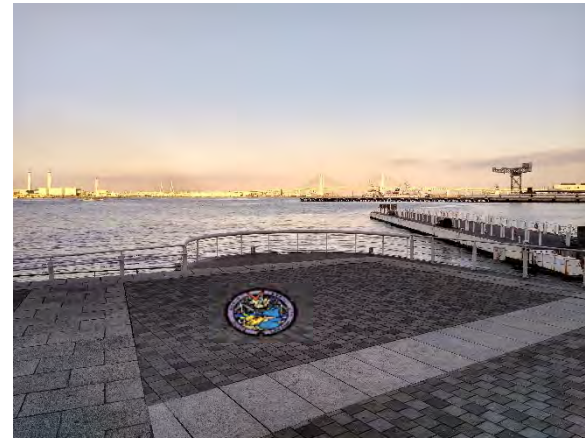
(3) 設置予定場所及び人流のイメージ



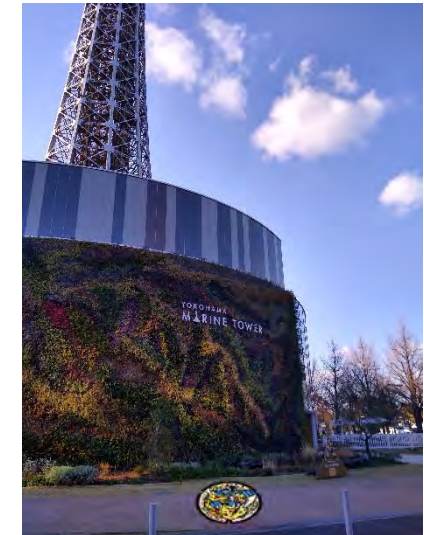
⇔ (人流・観光周遊のイメージ)

(4) 各ポケふたの設置イメージ

A：臨港パーク



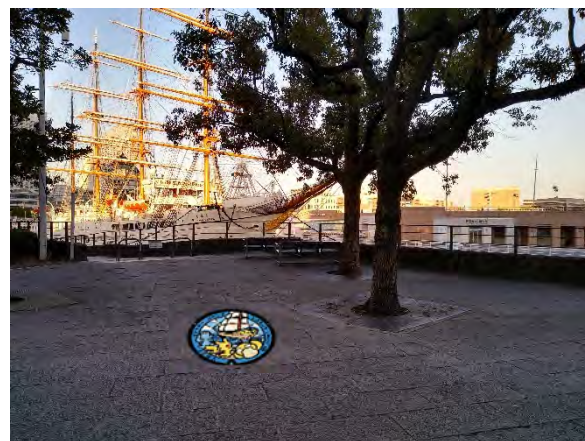
D：横浜マリンタワー



B：赤レンガ倉庫



C：日本丸メモリアルパーク



(5) ポケふたデザイン案

A：臨港パーク (中央地区)	審議対象 B：赤レンガ倉庫 (新港地区)
	
wC：日本丸メモリアルパーク (中央地区)	D：横浜マリンタワー (関内地区)
	
【参考】①：桜木町駅前（既設）	
	<p>【参考】ポケふた規格</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 直径：約 634mm、重さ：約 45 kg ■ 荷重区分 T-14（歩道用） ■ 施錠構造有り

4 景観形成における配慮事項

(1) 設置地区における景観協議

ポケふたの設置にあたっては、中央地区・新港地区・関内地区それぞれにおける景観形成ガイドラインにおける色彩やデザイン等の基準を遵守し、各地区の魅力的な景観形成に支障を及ぼさないよう配慮します。また、設置する施設と関連性のあるデザインを背景に取り入れることで、景観との調和を考慮した調整を行います。

(2) デザインコンセプトへの配慮

デザインコンセプトにあたっては、ポケモンの選定や構図等について、ゲームの世界観と各施設の特徴を照らし合わせ、来場者がデザインの背景やストーリー性を想像し楽しめるものとする^{こと}で、本市の景観との親和性をもたせたデザインとします。また、都心臨海部の水際線を活用した観光周遊を促す観点から、桜木町駅前の既設置分を含む5枚のポケふたが統一感を持つようなデザインコンセプトとしています。

ポケふた設置の効果

1 ポケふたのレガシー効果

2004年から開催されているWCSは、主にアメリカを中心に実施されており、横浜大会はアジア初開催となることからポケモンファンの中ではレガシーとなる大会です。横浜大会を記念して設置するポケふたは、高いシティプロモーション効果が期待され、イベント終了後も継続的な集客が見込まれます。



ポケモン WCS2023 横浜大会 ログマーク

2 ポケモンのコンテンツカを活用した観光振興

ロンドンで開催された前回大会（WCS2022）では世界 50 以上の国と地域から 1,000 名を超えるプレイヤーが参加し、大会の動画配信では全世界で延べ 800 万名以上が視聴するなど、世界的にも非常に注目度が高いイベントであることから、多くのインバウンドが期待されます。

国内外からの多くの来場者に向けて、ポケふたを見て回る周遊マップ等のツールを作成し活用することで、都心臨海部の周遊を促します。また、ポケふたを見て回ることに合わせて、ウォーターフロントの美しい景観を楽しんでいただくことで横浜へ再訪する機運の醸成を図ります。

3 横浜市のポケふたにおける観光的優位性

世界的な人気コンテンツであるポケモンの世界では現在 1,000 種類以上のポケモンが発見されていますが、その中でも人気・知名度ともにトップクラスである「ピカチュウ」がメインでデザインされたポケふたは横浜市にのみ設置されており、その点からも国内外のポケモンファンへの遡及力が期待されます。横浜の歴史的建造物の代表格である赤レンガ倉庫を中心に観光の拠点となる各所にポケふたを設置することで、既存の市内観光とポケモンを契機とした新たな観光誘客の相乗効果を創出します。

4 WCS2023 を契機とした一過性とならない観光振興

WCS2023 開催に合わせて作成する周遊マップ等のツールをイベント終了後も引き続き利用することで、継続的な観光資源としての活用を目指していきます。

また、ポケふたは「ポケモン GO」（スマートフォンの位置情報を活用したゲームアプリ）の拠点となる「ポケストップ」も兼ねており、当該ゲームのプレイヤーを対象とした誘客効果も期待されます。

©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。